

# そっと おと とけ

AUGUST 2003  
MONTHLY  
vol. 4

「え、とおととけ」は、遠く中央図書館蔵書によるご新聞でも、その紹介や図書館ニュース、イベントなどがない。図書館をもっと身近に、身近に、お好きになってもらえるような新聞になれば…と思っています。

今号は、「恋の路」をテーマにしました。  
うれしい、楽しい、つらい、悲しい…。  
恋をした時のいろんな気持ちや恋ってつまらぬ一瞬小説の他に、脚本や児童書・詩集などが見られました。お友達や選んだ恋の路をどうお楽しみ下さい。

## 『スギ』 鹿洲 結子 著 971p.20

すきさんと一緒にいる時間。  
つらいときも、楽しいときも、いつも一緒にいたい。  
どんな時間の中でも、さまたげない想いを届けたらいいかな。  
すきさんを見て、恋心に燃えておませんか？



## 『ムーンライト・シャドウ』 おちこぼるな 著 203

—最愛の恋人・尊(たかし)を事故で亡くした「さつき」の新たなスタートまでの物語—  
愛の深さ、さつきの思いが痛いくらいに伝わらん！  
そして「尊」への切実な恋の再会…。  
切ない、そして心うごかすことなんだ！  
涙をおさえることができないか。此作品です。  
私にとって、宝物ともいえる1冊。超オススメです。



## 『ドナウの恋人』 宮本 輝 著 下巻

母が旅に出た。父を日本に預けて、ドナウ川の源流から東海へ旅が始まるまでを見てみたいという。麻乃子は母を捜しに、大卒卒業後の5年間を過ごしたドイツへ。そこで昔の恋人ミゲと2年ぶりに再会する。ミゲは、17歳も下の男性と恋をしていた。2つおととけの行方は…？



## 『森いまはじけた』 高木 穂花 著 K913ナ

どちらかというと言子だ。たむのこ。しかし、ある日突然！  
たむのこを見よと胸の中でパチンと何かが弾けた。  
たむのこを見よとドクドク、足水だね。  
そんな経験ありませんか？  
恋は突然訪れることがあるかも  
高木穂花子 様々な恋の形のショートストーリー集です。



## 『恋愛 恋は恋にしかくせぬ恋の詩』 川崎 洋 編 K902ナ

世界中の作家が書いた恋愛の詩集。情熱的なもの、神秘的なもの、風流的なもの…。  
詩の中には、恋人への想いもあふれて、その国独自の情景までもうかんでくるような詩もあります。  
そんな国々の恋愛をのぞいて下さい。



## 『スベテツ』 松尾 由美 著 下巻

輪尖とわたし。た〜度、決して重ならないはずの2人の日々が変わってしまった時、全てがほじぼってしまった…。  
行方不明になった彼を靴とスベテツで見つけ出す！  
娘のために…。  
2人が離れぬか。お理由、もう言うことはない理由がとてま切ない。死んでも娘はこう言うのだ。  
—輪尖に出会えてよかった—



大勢の予一は  
恋の予一は  
お楽しみあれ

